

# とり村回覧板

Vol.  
35

2024年 夏号

認定NPO法人TSUBASA

「人・鳥・社会の幸せのために」

tel.048-480-6077

www.tsubasa.ne.jp

埼玉県新座市中野2-2-22

## 【秩父セキセイ】

秩父セキセイとは2023年11月にレスキューした、セキセイインコ43羽と十姉妹2羽の総称です。新しい家族が決まった子、残念ながら亡くなってしまった子もあり、現在は33羽がTSUBASAで暮らしています。今回表紙を飾るのは、肝が据わりすぎていることで有名なスタッフに人気の高いブリスです。秩父セキセイは、前のご家庭ではご飯が食べ放題の状態だったため、ぽっちゃりさんが多めです。レスキュー当初は人が部屋に入っただけでパニックになったり、緊張で



その場で固まってしまう子たちもいました。今ではTSUBASAの環境に慣れて、人が目の前に居てもご飯を食べたり、ごによごによ何かお話している姿、羽繕いしている様子も見せてくれるようになりました。なかにはおやつを手から受け取れるようになった子もいますが、まだまだ人に慣れていない子も。人に慣れていない子への接し方は4ページの記事をぜひ参考にしてください。安心してお迎えすることができると思います。秩父セキセイたちは里親募集中です。ぜひTSUBASAにご連絡をお待ちしております！

## TSUBASA

「The Society for Unity with Birds – Adoption and Sanctuary in Asia」  
(鳥と調和のとれる社会 – アジアの里親とサンクチュアリ)

TSUBASAは「人・鳥・社会の幸せのために」を理念に  
レスキュー活動をする団体です

TSUBASAは、インコ・オウム・フィンチと暮らす全ての方、そして動物愛護に関心をお持ちの方に対してより良いバードライフのご提案と適正な飼育のための啓発活動を行っております。

また、様々な理由により手放されてしまった鳥たちを引き取り(里子制度)、  
新しい飼い主さんを探す(里親制度)活動を行っております。

### 回覧板を 設置していただきませんか？

広く、皆さまに活動を知っていただく事を目的とし本誌を発行しております。回覧板を設置して下さる団体様、施設様を随時募集しています！



## CONTENTS

Vol.35

- 鳥の状態に合わせたケージ内レイアウト……………1
- TSUBASA大型高齢鳥の健康状態……………3
- 怖がりな鳥さんへの接し方……………4
- 慰霊祭2024レポート……………5
- TSUBASAシンポジウム(第21回)大阪開催レポート……………6
- マンスリーセミナー 他……………7

TSUBASAでの鳥の状態に合わせたケージのレイアウトをご紹介します。

# 鳥の状態に合わせたケージ内レイアウトのあれこれ

## 1 健康な鳥

通常の場合

- 止まり木は2本以上
- おもちゃは2、3個ほど設置



① 止まり木は上段(奥)と下段(手前)の2本以上設置。

下段は食事をする場所や人と関われる場所として、上段の止まり木は寝る場所やリラックスできる休憩場所として、人と距離を取りたい子の落ち着ける場所としての役割があります。

人を怖がる子の場合は、落ち着いて食事をしてもらうために食器を上段の方に設置します。

② フラットなタイプの止まり木(人工的な真っ直ぐな止まり木)だけでは足の同じ箇所に負荷がかかるため、最低1本は自然木を使用しています。

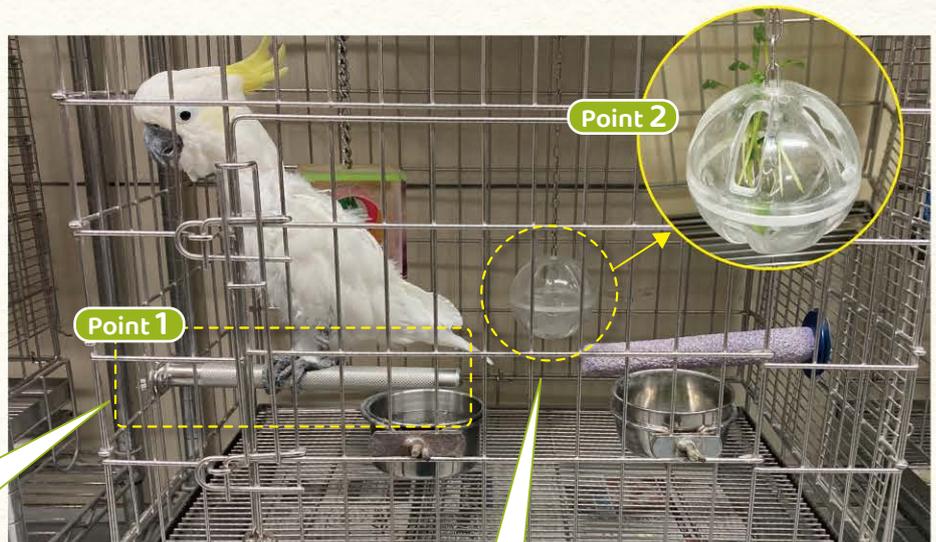
## 2 誤飲・誤食する鳥

餌以外のものを食べてしまう場合

- 止まり木は人工物に
- おもちゃは壊されない素材

食事制限をしている鳥の場合、空腹を満たすために木材や紙類を食べてしまうことがあります。

① 止まり木は人工物のものに変更しているほか、おもちゃの素材も壊されないものを使用しています。



② 空腹の時間を減らすよう、食事の時間を小分けにしたり、フォレイジングのおもちゃを入れています(豆苗やシシトウなどの、食べても良い野菜をおもちゃ代わりに入れています)。

お家の鳥さんの状態に合わせて、参考にいただけますと幸いです。

## 鳥の状態に合わせたケージ内レイアウトのあれこれ

3

### 足が悪い鳥

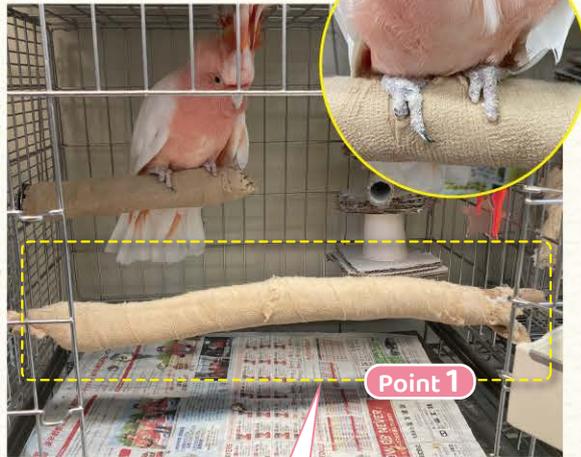
軽度の場合

- 足の負担を軽減

足の握力が弱い鳥や、足の裏が腫れている鳥に対しては、止まり木に医療用包帯を巻いてクッション材にしたり、ロープに変えて負担を和らげています。



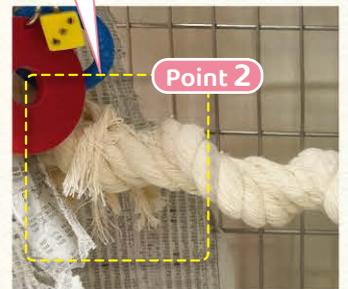
※肥満体型の鳥や足の握力が弱い鳥、もしくは止まり木が合っていない場合、左の写真のように足の裏が赤くなる場合があります。



Point 1

1 鳥によっては通常の太さだと、つかめずに落ちてしまうため、あえて通常より少し太めの止まり木を設置しています。

2 ほつれた包帯やロープの細い糸が爪に引っかかったり、指に巻き付いたりして事故の元になるため、定期的にメンテナンスや交換が必要です。



Point 2

4

### 足が悪い・高齢など

重度の場合

- 床での生活に切り替え

足の炎症が重度な鳥や、高齢の鳥など、止まり木から落ちてしまうほど足の状態が悪い場合は、止まり木を低くし、床にタオルを敷いて床での生活に切り替えています。また移動の負担をなくすため、あえてケージの大きさを小さめにすることもあります。



Point 1

1 止まり木に少しでも乗ることができる場合は、止まり木の上にタオルを被せて止まれる場所を作っています。



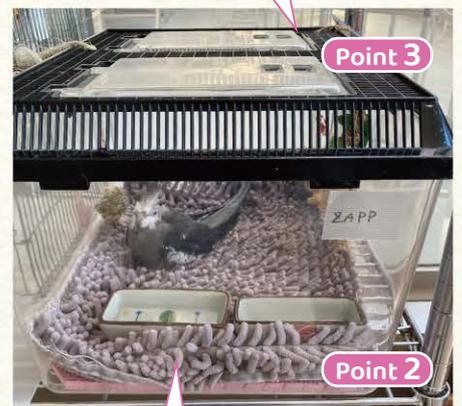
Point 2

2 タオルの素材はフリース生地のものや、ループタオルといった、爪が引っかかりにくい素材のものを使用しています。使い続けていくうちに鳥によっては穴をあけたり、劣化してほつれができたりますので定期的な交換が必要です。



Point 3

3 鳥は高いところへ行く傾向があるため、ケージや金網を登ってしまう場合は事故防止や安静のために、プラケージやアクリルケージに変更します。



Point 3

Point 2

TSUBASA

# 大型高齢鳥の健康状態

## 大型鳥の寿命は50年。

驚くべき数字ですが、鳥好きの方なら聞いたことがあるかもしれません。

半世紀生きる…途方もない数字です。人間でも、50年生きていれば病気になるし怪我もします。

では、実際のところ50年生きた鳥たちは何か身体的に問題を抱えているのでしょうか。

大型鳥が多数暮らすTSUBASAの高齢鳥の実情についてお知らせします。

下記は、現在TSUBASAで暮らす高齢鳥の表です。



ルーカス/1978年生



クック/1975年以前生



ハロー/1973年生



ピンキー/1972年以前生



キタロー/1976年以前生



チロリン/1974年生



オールド/1964年以前生



ペリー/1973年以前生

### TSUBASAで暮らす高齢※1大型鳥と抱えている問題～外見上の異常所見※2～

名前	種類	生年	年齢※3	抱えている問題
オールド	キエリボウシインコ	1964年以前生	60歳以上	痙攣、動脈硬化、食欲低下、脚弱
ピンキー	オオバタン	1972年以前生	52歳以上	脚弱、両翼麻痺、白内障
ペリー	キバタン	1973年以前生	51歳以上	異常所見なし
ハロー	キエリボウシインコ	1973年生	51歳	クチバシ過長 肝臓疾患
チロリン	キエリボウシインコ	1974年生	50歳	脚弱、神経症状
クック	コバタン	1975年以前生	49歳以上	羽の黄色化(血液検査上問題なし)
キタロー	キバタン	1976年以前生	48歳以上	脚弱、神経症状、片翼麻痺、白内障
ルーカス	コバタン	1978年生	46歳	異常所見なし

※1 ここでは、46歳以上(1978年以前生まれ)の鳥を掲載しています。※2 精密な検査は症状がある鳥のみで実施しています。異常所見がない鳥については、触診と糞便検査のみの診断となります。  
 ※3 鳥たちの年齢は全て、2024年現在のものになります。

いかがでしょうか?何かしらの症状が出ている鳥もいれば全くの無症状の鳥もいるのが見てわかると思います。

寿命50年という、50歳まで生きる。それを目安(ゴール)にお世話をするのだと皆様イメージされると思います。

しかし実際は治療や気になる症状が増えていくというだけで、50歳前後ではまだまだ元気な場合も多いのが現状です。

そして、医療のサポートがあればそこから更に長く一緒に暮らせるということも感じています。

## 大型鳥の寿命は、50年以上

一人の人間が最期まで伴走できるのは希有なこと。それをふまえて、愛する鳥さんの未来(自分が飼えなくなる可能性)を考えておく必要があります。

なお、TSUBASAでは今回ご紹介した鳥たちの多くの里親さんを募集しています。

0~50歳まで一緒に暮らすという選択肢もあります。50歳前後からのシニアライフを楽しむという選択肢も多くの方にご興味を持っていただけたらうれしいです。

若い鳥の魅力はイメージしやすいですが、

シニアの魅力はその鳥ごとの鳥生経験に上乘せられた言葉では言い表せない素晴らしさがあります。

ご興味のある方がおられましたらぜひ、TSUBASAの里親会にもご参加下さいね!

### 告知!

TSUBASAオリジナルのピンバッジに新デザインが登場です!

TSUBASAの高齢鳥に多いキエリボウシインコをイメージしたカラーです。愛鳥さんのご長寿祈願(?)におひとついかがでしょうか?



# 怖がりな鳥さんへの接し方

## 「怖い」のサインを見逃さない

まず大事なのは鳥さんの逃走距離を把握することです。逃走距離とは、鳥さんが「怖い」「嫌だ」と感じ、その場から逃げてしまったり、逃げる素振りが見られる距離のことです。



逃走距離短め 逃走距離長め

この逃走距離は鳥さんによって異なり、怖がりな鳥さんほどその範囲は広がります。

理想は鳥さんが立ち去ってしまう前に、怖がる素振りをいち早く察して

身を引くことです。何をすることも、鳥さんの逃走距離を無視して近づくのはNG。

鳥さんが安心していただける距離感を確保しながら接することは、仲良くなるための近道です。

## 動作や目線に気を付ける

怖がりな鳥さんと接する時の鉄則。それはどんな動きも**ゆっくり丁寧**にすることです。食器交換ひとつとっても気をつけるポイントがいくつかあります。

- ・扉に手をかける時はゆっくりと
- ・声掛けをしながら行う
- ・扉の開け閉めはそつと行う
- ・食器を持つ手はゆっくりと動かす



優しい食器交換 見直したい食器交換

鳥さんは急な大きな音にもびっくりしてしまうので、併せて大きな音を立てないように意識すると、おのずと手もゆっくりと動かすことができます。

鳥さんの表情や動きに変化をもたらすことなく、こちらのやりたい事ができれば満点です。

また、鳥さん側からの目線を想像してみると良い気付きがあります。まずは右の写真を見比べてみてください。少しの違いではありますが、私たち人間は鳥さんから見ると、とてつもなく大きな存在であることを忘れてはいけません。ほんのちょっとした変化で鳥さんの恐怖心を減らせる可能性があるのです。ぜひ意識しながら接してみてください。



目線を外す

直視する



身体の側面を向けて立つ

身体の正面を向けて立つ



低い位置から見上げる

高い位置から見下ろす

## どうしても怖がることをしないといけない時は...

ここで指す「怖がること」というのは、人間側の努力では限界がありどうしても鳥さんを怖がらせてしまう時です。鳥さんによって怖いと思う事柄は様々なので、一概には言えませんが例えば、

・捕まえる(体重測定などの健康管理): 捕まえようとすると逃げてしまい、優しく包んでも嫌がる

・ケージのお掃除や移動: ケージに手をかけただけで暴れてしまう 等...

どちらも必要不可欠なことなので、日常のお世話をするうえで避けられません。

こういった時は”変装”することをオススメします。必ず決まったアイテムで変装してから

接することで、この格好の時は怖いことが起こる、という合図として



普段の服装時の反応 変装時の反応

覚えてもらうことができます。逆に、変装していない普段の恰好では、怖いことはしないよという安心の印にすることで、これまで築き上げてきた関係性に影響が出にくくなります。



TSUBASAでの変装

## おやつをあげて好感度アップ

**初級** ケージ越しに食器の中におやつを入れる。

ここでは、**人=おやつ(良い事がある)**と覚えてもらうことが目標です。鳥さんのケージの前を通るついでにそつとおやつを入れるだけで大丈夫です。

不必要にケージの前に滞在する必要はありません。



参考動画

**初級** おやつを入れた食器に手を触れて待つ

食べるに來てもらえたら食器に手を触れたまま待機です!

指で触れる食器の場所を、鳥さんから見えやすい位置に少しずつずらしてレベルアップしていきます。



**中級** ケージ越しにおやつをあげる



鳥さんから少し離れた位置で待機します。鳥さんが自ら食べに來てくれるのを待ちましょう。待機中は鳥さんを直視したり、目線を合わせたりしないように気を付けましょう。その鳥さんにとってより価値の高いおやつを見つけられると、さらに効果的です。

おやつ探しには、  
とり村回覧板32号の「お気に入り大調査」を  
ぜひご活用ください▶



## さらに詳しく

TSUBASAホームページには、怖がりな鳥さんとの接し方を動画で紹介している『学びの小部屋』という特設ページもあります。こちらのQRコードからぜひご覧ください。





# 慰霊祭2024レポート



「慰霊祭」とはTSUBASAが主催するイベントの1つで、  
「オウム・インコの日」(6月15日)にちなみ、毎年6月に開催しています。

## 慰霊祭とは

「とり村」施設前にある慰霊碑に眠るとり村で亡くなった鳥たちのみならず、皆さまの愛鳥さんをはじめ世界中の鳥たちの供養を行います。

例年、読経とご法話を七沢観音寺の林ご夫妻に執り行っていたいています。

今年はスタッフだけでなく参加者を募り開催しました。

慰霊祭当日の様子をお届けします。



コロナ禍以降、スタッフのみが参列する様子をライブ配信するオンライン形式や、とり村施設・オンラインどちらでもご参列いただけるハイブリッド形式など、形を変えながら開催してきました。

今後も皆さまのお気持ちに寄り添いながら、世界中の鳥たちに思いを馳せ慰霊祭を行いたいと思います。

## ご供養

慰霊碑前に行いました。

慰霊祭当日は一般のお客様・ボランティア様合わせ20名の方にご参列いただきました。

この日はちょうど供養が始まる時間から雨予報で、朝から曇り空でした。しかし、お昼ごろから晴れだし午後からはお天気に恵まれ、無事供養を終えました。



## 法話&お話し会

とり村施設内での法話、お話し会の様子。ご参列者の方からの質問やお悩みに答えていただきました。亡くなった愛鳥さん

の納骨のタイミングやお経の種類など内容は多岐にわたりました。笑いあり、涙ありの時間になりました。

## 馬頭観音ご開帳

普段はとり村施設内のご仏壇に安置していますが、慰霊祭当日に限りご開帳しています。

頭の上に馬が載った姿が特徴です。馬はもちろん、全ての動物を救うとされる観音さまです。

自身の結界を強める、魔除けのようなご利益もあるのだとか。馬など動物が飼育されている場所の他に、見通しの悪い道など交通事故が発生しそうな場所にも、安全を祈願し安置されているそうです。(道路に安置されている場合、「馬頭観音」と彫られた石碑が多いそうです。)

今年も多くの方にご参列いただき、ありがとうございました。

## お花&お供えものありがとうございます

慰霊祭に合わせ、お花や果物・お野菜をお送りいただきありがとうございました。ご仏壇や慰霊碑にお供えさせていただきました。



慰霊祭当日もお出迎え鳥を担当してくれたシロちゃん。いただいた小松菜をお裾分け。ご住職のお経に合わせて「ぼっぼぼー」と歌っていました。



メインテーマは

「生まれてくる尊い命を幸せにするために」

# TSUBASAシンポジウム(第21回)

## 大阪開催レポート

### シンポジウムと愛鳥塾、何が違うの？

というご質問をときどきお受けします。この定義が正しいかどうかわかりませんがTSUBASAでは次のように考えています。

#### 【愛鳥塾】

- 定員100名以下の会場で小規模に行う
- 講師の話に耳を傾けることを優先

#### 【シンポジウム】

- 定員100名以上の会場で大規模に行う
- 講演のテーマに一貫性がある
- 講演した講師たちが壇上にて参加者からの質問をもとに意見を述べる

このような趣旨で行っていますが、厳格な区別はありません。ケースバイケースで開催しています。

ただ、今回の大阪開催のTSUBASAシンポジウムは前述の趣旨に則って開催をさせていただきました。

その内容をお伝えします。

まずメインテーマは「生まれてくる尊い命を幸せにするために」です。

このテーマをもとに次の順番で4名の講師が講演を行い、最後にシンポジウムを行いました。

①松本 壮志(認定NPO法人TSUBASA代表理事)  
「コンパニオンバード・ブリーディングの現在、過去、未来」

②高橋 桃子(momofram代表)  
「人も鳥も共に育つ「共同育雛」co-parenting ～心身ともに健康で幸せな育雛を目指して～」



③石綿美香(ALLETA代表)  
「鳥の親と人の親のBRIDGE(懸け橋)になる ～Being a bridge between bird parents and human parents～」



④上田通裕(たかつき鳥の病院院長・獣医師)  
「繁殖関連の健康管理～親鳥の健康管理の重要性と生まれてきたヒナのケアなど～」  
(以上、敬称略)



- 繁殖に関わる病気がこんなにたくさんあるとは思わなかった
- 今までの繁殖家の多くは、尊い命が誕生するまでのプロセスを安易に考えているのではないか!?
- 繁殖させる前に親鳥の健康診断をしてほしい。  
もし病気がある場合は繁殖をさせないでほしい。

その他、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。

皆さまのお家にいる愛鳥さんの多くは、繁殖場⇒問屋⇒ペットショップという流通経路を経てお迎えされた子たちです。

TSUBASAシンポジウムに参加されたことで、愛鳥さんをどの場所からお迎えするとしても、感染症や病気のリスクが多く潜



⑤シンポジウム(録画配信あり)  
「生まれてくる尊い命を幸せにするために」  
高橋様・石綿様・上田先生  
司会進行:松本

以上の内容は後日期間限定で録画配信されました(TSUBASAの松本の講演を除く)。

TSUBASAシンポジウムに参加された皆さまからいろいろなご意見をいただきました。一部ですがご紹介させていただきます。

- 飼い鳥なので親鳥の社会化が重要。人が関わらない繁殖はナンセンス
- 共同育雛のドキュメント動画に感動。すべての繁殖家に見てほしい
- 安くしないと売れない、だから、手を抜く時代。そんな時代は終わった。手間暇かけて愛情をかけて育ててほしい
- 繁殖場をいつでも見学できるようにしてほしい

でいるということをご理解いただけたのではないかと思います。

.....  
今回のTSUBASAシンポジウムをきっかけに、繁殖や販売に携わる人たちの意識が変わるだけで、一羽でも多くの鳥と一人でも多くの飼い主さんが幸せになれることを願っています。

オンライン

## マンスリーセミナーのご案内

一度つきりじゃもったいない!

マンスリーセミナー（オンライン配信） 各講義 3,300円

いつ聞いても何度聞いても、きっとお役立ていただける普遍的なテーマを中心に過去に開催したセミナーを月替わりで配信しています。

**配信期間中は、いつでも何度でもご視聴可能!**

鳥さんに健やかに生活をしてもらうための基本から、療養中や高齢鳥の介護について、はたまた特定の鳥種にフォーカスしたちょっぴりニッチな講義まで。バラエティー豊かな講義内容はこれまで数多くの講演を企画してきたTSUBASAならではの。

初めての方はもちろん、過去に受講された方も、『あたり前』になってしまっている日々のお世話をちょっぴり振り返ってみるのにぴったりです。

各方面でご活躍中の多彩な講師陣の講義スケジュールはこちらからチェックしてね▶



講義スケジュール  
はこちらから!



## 第8回 愛鳥祭開催!!



今年はTSUBASAが拠点とする埼玉県が開催地! 『Save The Birds』をテーマに掲げ、鳥づくし、盛りだくさんの2日間。

魅力あふれる鳥グッズ・用品の販売だけでなく、誰でも気軽に聞ける無料セミナー、深く学べる有料セミナーも充実。

ドキドキワクワクの大抽選会、愛鳥さんに想いを込めて作るおもちゃ教室、さらに屋外イベントスペースでは新企画もあるとかなんとか?!

『人・鳥・社会の幸せのために』スタッフ一同、真剣に楽しく取組中。ぜひみなさま、お立ち寄りください!

※鳥さんや他の生体同伴でのご入場はできません。  
ご注意くださいね!



愛鳥祭について  
詳しくはこちら!



## 新入職員ご紹介



みなさま、初めまして。2024年4月に入職しました、高橋怜未(たかはし れみ)と申します。東京動物専門学校出身です。

自宅でセキセイインコを飼育していることや、学校の実習などを通して鳥に関わる仕事に就きたいと思いTSUBASAに就職しました。

鳥に関する知識や飼育の経験はまだまだ未熟ですが、日々多くのことを吸収しながら成長していけるように頑張ります。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

【発行元】  
認定NPO法人 TSUBASA  
松本壯志/涌井智美/望月健人/井伊順子/城ヶ崎裕海/清水有紀/新田莉子/家入晋平/高橋怜未

【発行】2024年8月  
次回発行は2025年1月予定です。

※誌面の情報は発行日現在のものです。情報に変更が生じる場合がございますのでなにとぞご了承ください。